

# フロントブレーキホースキット (775mm) 取扱説明書

製品番号 06-08-0098

適応車種及び フレーム番号	GROM	: JC61-1000001 ~ 1299999 : JC61-1300001 ~
	MSX125	
	MSX125SF	
	Z125 PRO	: BR125H-A02621 ~

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

## ●ご使用前に必ずお読み下さい

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用部品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。

◎当製品で使用されているバンジョーボルトのネジピッチは10x1.25です。純正マスターシリンダー、キャリパー専用です。

◎この取扱説明書は、基本的な技術や知識を持った方を対象に作成しております。取り付けに自信の無い方や、取り付けに必要な工具等をお持ちで無い場合は取り付け作業は行わずに、指定工場、又は認証工場などの車両整備が可能な業者へ取り付けをご依頼下さい。

◎アルマイト製品は経年変化により、色褪せ等発生する場合があります。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。

取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は技術的信用的専門店へご依頼されることをお勧め致します。

## ■特徴

テフロンチューブをステンレスブレードで覆った低膨張率のブレーキホースを使用し、ダイレクトで確実なブレーキングを実現します。

**⚠ 注意** この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

■カッター等を使用する場合は、必ず手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)

■作業を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)

■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)

■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)

■製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)

■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。(部品の脱落の原因となります。)

■ブレーキホースに使用するシーリングワッシャは、着脱ごとに必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

**⚠ 警告** この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)

■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)

■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。

(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)

■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。

(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)

■ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させないで下さい。万一、付着した場合、パッドは交換し、ディスクローターは脱脂を行って下さい。(事故に繋がる恐れがあります。)

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

## 製品内容



番号	部品名	個数	リペア品番
1	ブレーキホース 775mm	1	06-080-0007
2	バンジョー (45°)	1	00-07-0039
3	バンジョー (25°)	1	00-07-0037
4	バンジョーボルト M10x1.25	2	00-07-0007
5	シーリングワッシャ 10mm	4	00-07-0010 (10ヶ入り)
6	ブレーキフルード BF-4 (200cc)	1	06-08-0019

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご注文下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。  
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

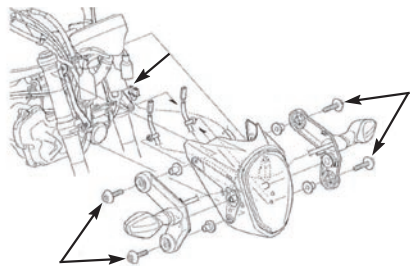
〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16

TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

お問い合わせ専用ダイヤル : 0721-25-8857

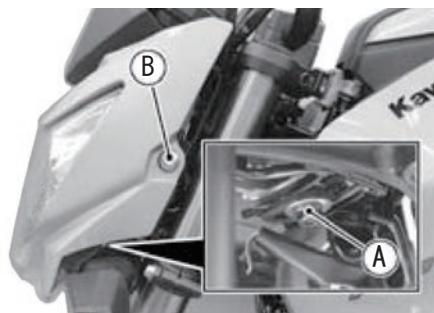
GROM・MSX125の場合

1. ヘッドライトを固定しているボルト4本とコネクター2箇所を外し、ヘッドライトASSY.を取り外します。  
注) 図はGROM(JC61-1000001 ~ 1299999) 示しています。



Z125 PROの場合

1. ヘッドライト下部の光軸調整ボルト(A)、ヘッドライト左右のボルト2本(B)と、配線のコネクターを外しヘッドライトASSY.を取り外します。



2. ブレーキフルードを抜き取り、各クランプを外して純正のブレーキホースを取り外します。
3. マスターシリンダー側はバンジョーボルトにシーリングワッシャ、バンジョー45°、シーリングワッシャの順で通し、仮締めします。キャリパー側はバンジョー25°を同様に取り付けます。



4. ブレーキホースを各クランプに通して各バンジョーに取り付けます。バンジョーボルト、ブレーキホースのフィッティングを指定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
バンジョーボルト  
トルク：12.7 ~ 14.7N・m (1.3 ~ 1.5kgf・m)  
フィッティング  
トルク：4.9 ~ 5.9N・m (0.5 ~ 0.6kgf・m)

▲注意：ブレーキホースの取り回しは、ねじれや折れ曲がり無く、ハンドル操作時やフロントフォーク作動時に無理のかけられない状態になるように注意して下さい。

GROM・MSX125の場合

5. 純正ブレーキホースクランプ部のグロメットを使用する場合は、カッター等で割りを入れ、接着剤を剥がして取り外して下さい。

▲注意：グロメットを取り外す際は、純正ブレーキホースを損傷しないように注意して下さい。損傷した場合はそのブレーキホースの使用はお止め下さい。



Z125 PROの場合

5. 純正ブレーキホースクランプ部のグロメットにカッター等で割りを入れて接着剤を剥がして取り外し、弊社製ブレーキホースに取り付けます。写真のようにビニールテープ等を巻いて外れないようにします。

▲注意：グロメットを取り外す際は、純正ブレーキホースを損傷しないように注意して下さい。損傷した場合はそのブレーキホースの使用はお止め下さい。



ブレーキホースのグロメット部をクランプに取り付けます。クランプからグロメットが外れてしまう場合は、クランプを曲げてグロメットが外れないようにします。



6. ヘッドライトASSY.を取り付けます。

マスターシリンダー、キャリパーのエア抜き作業

1. ブリードバルブを締めます。
2. リザーバカバー、セットプレート、ダイヤフラムを取り外し、リザーバにブレーキ液を入れます。
3. ブレーキレバーに抵抗が感じられるまで、ブレーキレバーを操作します。

▲注意：勢いよくブレーキレバーを握ると、ブレーキ液がこぼれたり、マスターシリンダーのポートから吹き出る恐れがあります。

4. ブリードホースをブリードバルブに接続します。
5. ブレーキレバーを握ったままの状態ですブリードバルブを1/2回転緩め、数秒待ってからブリードバルブを閉じます。ブリードバルブを閉じるまでブレーキレバーを放さないで下さい。

6. ブレーキレバーをゆっくり放し、完全に戻った後、数秒待ちます。

7. ブリードバルブから排出されるブレーキ液に気泡が混入しなくなるまで、手順5と6を繰り返します。ブレーキ液が下限線以下にならない様に、適宜ブレーキ液を足します。エア抜き完了後、ブリードバルブを指定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
GROMの場合  
トルク：5.4N・m (0.55kgf・m)  
Z125 PROの場合  
トルク：7.8N・m (0.8kgf・m)

8. リザーバの上限線までブレーキ液を補給します。
9. ダイヤフラム、セットプレート、リザーバカバーを取り付けます。
10. ブレーキを作動させ、各部からブレーキ液の漏れが無いを確認して下さい。

▲警告：ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させない事。万一、付着した場合、パッドは交換し、ディスクローターは脱脂する事。

▲注意：走行前に必ずブレーキが正常に作動するか確認して下さい。